

きんもくせい

令和6年10月8日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 中島 由紀江
(富士宮市立富士宮第一中学校)

温かく頼もしい言葉と行動力に助けられて



静岡県養護教諭研究会 副会長 竹嶋 ゆか

この度の地震により、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

8月8日、翌日の夏季研修会の準備を終えた私たち役員は、「明日無事に実施できること」を願い、午後4時30分頃にグランシップを後にしました。

しかしその直後、午後4時43分に宮崎県で大きな地震が起き、気象庁は午後7時17分に南海トラフ地震に関する臨時情報の『巨大地震注意』を発表しました。

その後、県教委で養護教員講習会実施の可否が検討され、『中止』と判断されたことを受け、夏季研修会も中止となりました。夏季研修会は、県下の養護教諭が年に一度一堂に会し、専門職としての思いや絆を深める貴重な機会です。「中止は仕方がない。」と頭では理解しながら私はとても残念に思いました。

しかし「中止」と決まった瞬間からやらなくてはならないことが、山のように押し寄せてきました。リスクを伴うため、役員全員がグランシップに集合することができず、会長の指示のもと、電話やメール等で連絡を取り合い、それぞれが今自分のいる場所で、できる役割を果たしていきました。前日の準備を済ませた会場を片付け、資料を各地区へ発送する作業は、当日集まった役員だけでは、とても手が足りませんでした。しかし、静岡市を中心に集まってくくださった方々のおかげで、無事に終えることができました。またグランシップには来られなくても、「自分にも何かできることはないか。」と連絡をくださったたり、実際に各地区で動いてくださったたりした方々もいます。そして、ホームページへの中止連絡のアップが深夜であったにもかかわらず、気づいた方や中止を知った方が、連絡を取り合ってくださいとも聞いています。

中止は残念な出来事でしたが、今回の経験から、私は静岡県養護教諭研究会の強い組織力を感じ、目の前にいる子供たちのために、毎日必死で向き合っている養護教諭の底力を感じました。

皆さんの温かく頼もしい言葉や行動力に感謝の気持ちでいっぱいです。

1年後、また皆さんにグランシップで会えることを楽しみにしています。



ホームページについて



新しいホームページは、
11月中旬に完成予定です。

静岡県養護教諭研究会のホームページをリニューアルするため、少しの間ホームページの更新を止めています。ホームページの完成まで今しばらくお待ちください。

地区紹介① 富士地区

富士地区は、小学校26校（複数配置校3校）、中学校15校、会員数44名で組織されています。研修のテーマを「『生涯にわたり心豊かで健やかに生きる子』～子供の健康課題を見取り、児童生徒が自分事として実践できるためのアプローチの工夫～」として研修を進めています。

静岡県教員育成指標にある、各キャリアステージにおける養護教諭の専門性の向上を目標とし、令和5年度から、若手・中堅・ベテランがそろった班を編成し、それぞれが、キャリアステージに応じた役割を意識し、互いに学び合っています。

さらに今年度、気軽に情報交換できる場と職務の質の向上を目指した自主サークルが立ち上がりました。富士市の養護教諭が縦横につながり、支え合いながら、専門性を高め、富士市全体の健康教育の向上につながることを目指して活動しています。

地区紹介② 富士宮地区

富士宮地区では、小学校21校（複数配置1校）、中学校13校、会員数35名で健康教育部が組織されています。研修テーマを「しなやかでたくましい心と体を育む健康教育」と掲げ、「生活習慣」「心」「安全」の3つ課題別の班に分かれて研修しています。子供たちが自分の健康課題に気づき、改善に向けて考え、健康づくりに取り組む姿を目指し、組織として健康教育を推進しています。これまでに積み重ねてきた実践を継続・発展させていくとともに、ICTを取り入れた保健指導の実践にも挑戦しています。また、今年度からは、健康づくりに取り組む子供たちの伴走者としての養護教諭の在り方についても模索しながら研修しています。各校での実践は、班や市内研修で共有して研修を深め、養護教諭の専門性を高め合っています。加えて本市では、養護教諭と学校医等との合同研修会を年3回開催し、学校医・学校歯科医・学校薬剤師から専門的な指導を受けることにより、学校保健活動の充実に力をいただいています。

会誌たちばな67号のお知らせ

「たちばな 67号」の「知りたい・聞きたい」コーナーでは、新型コロナウイルス感染症5類移行後の様子についての企画を掲載するため、編集作業を進めています。

会員へのアンケート結果からコロナ禍以降の感染症対策の必要性や「コロナ禍を通じて再認識された学校の役割」も踏まえ、これまで制限されてきた教育活動や学校保健活動について振り返り、コロナ禍の様々な取組、経験から学んだこと、今後に役立つ情報を共有することを目的として12月の発刊目指して編集集中です。

冬季研修会のお知らせ

講師：東京成徳大学 石隈利紀 教授

演題：「多様な子どもをチーム学校で支える ～生徒指導提要の改定から～」

オンデマンド配信を予定しています。詳細は後日お知らせいたしますが、多くの会員の視聴をお待ちしております。

